報　告　ＳＮＳ（ライン）を活用した悩み相談「ほっとＬＩＮＥ」（中間報告）

１《令和元年度の実施状況》

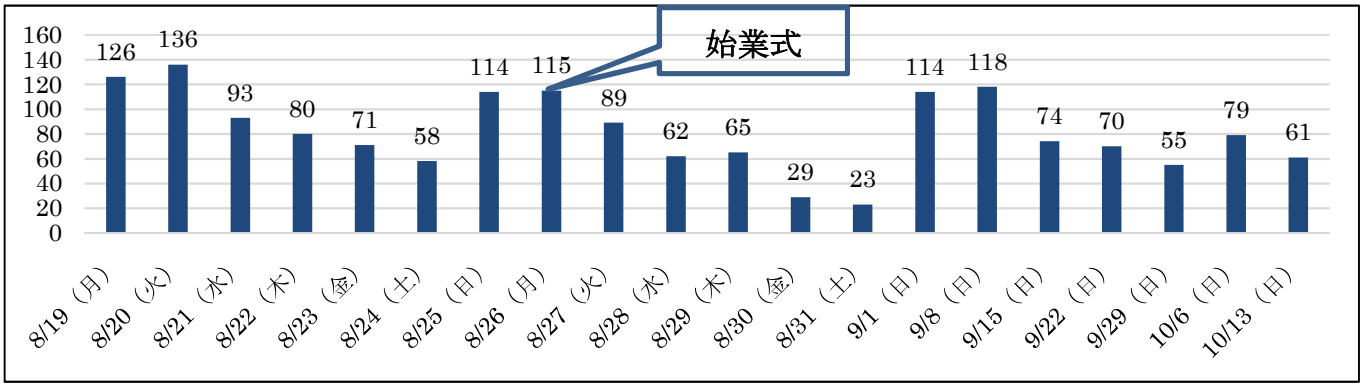
１	目的	いじめのみならず、不登校・友人関係・家庭環境等を含め、様々な悩みを抱えながら誰にも相談できない児童生徒に対して、ＳＮＳを活用した相談体制を構築し、問題の深刻化を未然に防止することを目的とする。
２	実施期間	令和元年８月１９日（月）～　９月１日（日） 令和元年９月　８日（日）～１２月２２日（日）の毎週日曜日 令和２年１月　６日（月）～　１月　８日（水）　５ヶ月間　計３３日間
３	実施時間	午後５時～午後９時
４	対象者	熊本市の県立以外の中学校・高等学校・特別支援学校に籍を置く中学・高校生 約３５,０００人

２《来訪相談件数》：令和元年度実績（令和元年１０月１８日現在までの２０日間実施）

○ 相談への来訪総件数(延べ件数)	１，６３２件	（２５４件）
・相談対応できた総件数(延べ件数)	１，６３２件	（２３４件）
・相談対応できなかった総件数(延べ件数)	０件	（　２０件）
○ 相談へ来訪した実人数	５８４人	（１３５人）
・対応できた実人数	５８４人	（１３３人）
・対応できなかった実人数	０人	（　２人）
○ １日平均の延べ相談件数	８１．６件	（１８．１件）

※（　　）はＨ３０の実績＜１４日間分＞

３《来訪相談件数》：日別延べ件数



４《成果等》：令和元年度中間アンケートから　（○：成果　●：課題）

○普段話せない悩みなどは、ここで話せるんだという安心感があった。
○顔が見えない相手だからこそ話しやすく、心のサポートになり凄く良い。
○ＬＩＮＥだと気軽に小さなことでも相談できる。
○悩んでいることを話そうとすると涙が出るので、ＬＩＮＥで言えて助かる。
○ほっとＬＩＮＥのおかげで、友だちと仲直りできた。勉強もはかどっている。
○自分の好きな時間に相談できるから、とてもいい。
○本当に助かっている。感謝。
○自分の悩みが小さくなり、１人で隠れて泣くこともなくなった。
●トークの反応が遅い時がある。
●時間の制限があるので、もっと時間を増やしてほしい。